

(様式2)

平成 22 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590800015		
法人名	社会福祉法人ほのぼの小千谷福祉会		
事業所名	グループホームほのぼの		
所在地	新潟県小千谷市大字川井1690番地		
自己評価作成日	平成22年10月13日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.n-kouhyou.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人新潟県社会福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階		
訪問調査日	平成22年11月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今年の4月より、川井ユニット愛染ユニットに其々に新しくリーダーと副リーダーを配置する事ができた。川井ユニットリーダーは専任だが、愛染ユニットは管理職が兼務することとなった。副リーダーは昨年9月より研修期間を設け、副リーダーの役割について勉強してきたが2名ともほのぼの3～5年以上の経験を持っている。この体制で4月からスタートしたが、2ユニット間それぞれに特色を発揮しつつあり、良い意味で互いに刺激し合い、活動が活発になってきていると思える。また、教育委員会が発足して3年目となり、内部研修(教育)も定着してきた。教育委員メンバーが中心となり、施設内委員会として、それぞれ分担する研修内容の立案から実施、評価まで行なえるようになった。職員も全般的にこの研修内容を前向きにとらえるようになって来ている。このような活動や、ほのぼのの認知症に対するケアを地域の方々にも知っていただきたいと考え、昨年よりキャラバンメイトの活動の一環として「認知症教室」を3回開催させていただいた。今年度も同様な趣旨でお声かけ頂き、2名の副リーダーにこの教室を担当させた。副リーダーとしての役割認識や、他のスタッフの意識向上に一役買ってくれたと感じている。また、地域の方々とも各季節の行事などを通じて身近に接する事が出来、親しい関係を維持する事が出来ている。散歩のときなど親しく声をかけていただき、交流も継続出来ている。また、施設の各行事にご家族の積極的な参加を頂き、合わせてミニアルバムを設置やホーム内の壁面に入居者の日々のご様子を写した写真度を掲載し、来所されたご家族に見ていただきご説明している。今後もほのぼので行なわれる認知症ケアを通して、広く地域の方々やご家族と繋がり、ほのぼので生活される入居者の皆様生活がより豊かなものになる事を目指し運営を行なっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、農村地帯の集落の中に立地している。周囲には広大な田畑や山、川などがある自然豊かな環境であり、窓から見える四季折々の風景を話題にしながらお茶会を楽しんでいる。また、安全なルートを開拓・検討しながら日常的に農道や畦道などを散歩し、地域の方との会話も楽しんでいる。敷地のすぐ裏手や近所には畑や花壇があり、畑では利用者と職員とでテーマを決めて作物を育て、収穫している。

ディサービスと併設した2ユニットのグループホームであり、それぞれのユニットの建物は分かれている。一方のユニットの1階には地域交流室が設けられており、ボランティアや地域住民との交流の場として活用している。

ホームでは、職員間の活発な意見交換や日々の生活の中での職員の「気づき」を大切に、それを具体的な目標や介護計画に反映させている。職員教育にも力を入れており、「教育委員会」を中心として、職員が学びたいことや職員間で見直したいことなどを取り上げて話し合っている。自主研究にも取り組み、1年を通じた研究テーマを設定して計画・実施・評価を行い、研究成果をさらに発展させられるよう運営推進会議でも発表をしている。